

被災地における創造的復興を推進し、防災・減災機能の強化を図る道づくり

事業主体 青森県
計画期間 H28～R2

■計画の概要

計画の目標

被災地域における、道路ネットワーク網の整備による創造的復興を推進するとともに、災害時の避難道路、および緊急輸送道路としての防災・減災機能の強化を図る。

成果目標

創造的復興を推進する道路事業(被災市町策定復興計画に重要施策として位置付けられた道路事業)の整備率

H28当初 17% → R2末 100%

事業内容

被災地域においてバイパス、**現道拡幅**等の道路改築事業を実施

- | | |
|------|--|
| 代表工区 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 国道454号 豊間内バイパス L=3.3km ➢ 八戸野辺地線 駒沢バイパス L=1.8km ➢ 三沢七戸線 春日台工区(現道拡幅) L=0.5km |
|------|--|

■事後評価の結果

事業実績

- 事業数による進捗 【計画全体12事業】
着手率100%(12事業)、完了率 41.7%(5事業)
- 完成した代表事例
三沢七戸線(春日台工区) 整備延長L=0.5km



整備前



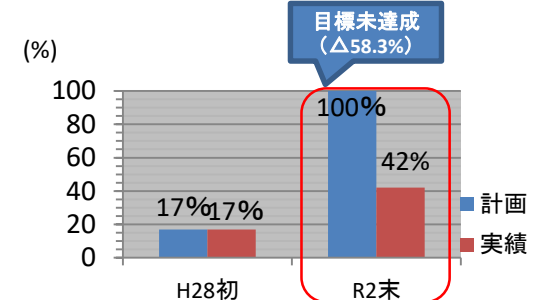
整備後

整備効果

現道拡幅により、狭隘区間を解消し、災害時の避難路、緊急輸送道路としての防災・減災機能の強化を図った。

成果目標(R2末)の達成状況

復興に資する道路事業の整備率(%)
= (完了箇所 / 復興に必要な事業箇所) × 100



■今後の方針

成果目標は未達成となったが、当計画において完了していない事業については、他事業に移行のうえ、引き続き事業の進捗を図る。

(参考様式2)

社会資本総合整備計画（復興基本方針関連（復興））

令和2年2月5日

計画の名称	15 被災地における創造的復興を推進し、防災・減災機能の強化を図る道づくり（復興基本方針関連（復興））																							
計画の期間	平成 28 年度	～	令和 2 年度	交付対象	青森県、八戸市																			
計画の目標	被災地域における、道路ネットワーク網の整備による創造的復興を推進するとともに、災害時の避難道路、および緊急輸送道路としての防災・減災機能の強化を図る。																							
計画の成果目標（定量的指標）	被災市町の策定する復興計画において、復興に資する事業として位置付けられた道路事業の整備率を100%（R2末）に増加させる。																							
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">創造的復興を推進する道路事業（被災市町策定復興計画に重要施策として位置付けられた道路事業）の整備率 （整備率）＝（対策が完了し、復興に資する事業箇所数）／（復興に必要な対策事業箇所数）×100%</td> <td colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="2">備考</td> </tr> <tr> <td>当初現況値 （H28当初）</td> <td>中間目標値</td> <td>最終目標値 （R2末）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17%</td> <td>－</td> <td>100%</td> <td>前計画期間中に完了した2事業を含め、全12事業</td> </tr> </table>											創造的復興を推進する道路事業（被災市町策定復興計画に重要施策として位置付けられた道路事業）の整備率 （整備率）＝（対策が完了し、復興に資する事業箇所数）／（復興に必要な対策事業箇所数）×100%	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 （H28当初）	中間目標値	最終目標値 （R2末）		17%	－	100%	前計画期間中に完了した2事業を含め、全12事業
創造的復興を推進する道路事業（被災市町策定復興計画に重要施策として位置付けられた道路事業）の整備率 （整備率）＝（対策が完了し、復興に資する事業箇所数）／（復興に必要な対策事業箇所数）×100%	定量的指標の現況値及び目標値			備考																				
	当初現況値 （H28当初）	中間目標値	最終目標値 （R2末）																					
	17%	－	100%	前計画期間中に完了した2事業を含め、全12事業																				
全体事業費	合計 （A+B+C+D）	19,382 百万円	A	19,382 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0.0%												

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 ・ 県道路課が実施	事後評価の実施時期 ・ 令和4年度 公表の方法 ・ 県ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																					
A 基幹事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名		事業内容 （延長・面積等）		市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	備考	
													H28	H29	H30	H31	R2				
15-A75	道路	一般	青森県	直接		都道府県道	改築	(主)	八戸野辺地線	駒沢	バイパス	L=1.8km	三沢市						809	1.62	3-A13 H29完
15-A77	道路	一般	青森県	直接			改築	(国)	国道454号	豊崎町	バイパス	L=2.7km	八戸市					1220		R7完	
15-A78	道路	一般	青森県	直接		都道府県道	改築	(主)	八戸環状線	天久岱	バイパス	L=3.5km	八戸市					4083		R5完	
15-A89	道路	一般	青森県	直接		都道府県道	改築	(主)	三沢十和田線	古間木橋	橋梁架替	L=0.7km	三沢市					3052		3-A103 R2完	
15-A90	道路	一般	青森県	直接			改築	(国)	国道338号	高瀬川第二橋	橋梁架替	L=0.5km	三沢市					1079		R2完	
15-A103	道路	一般	青森県	直接		都道府県道	改築	(主)	三沢七戸線	春日台	現道拡幅	L=0.5km	三沢市					257		3-A164 R2完	
15-A104	道路	一般	青森県	直接			改築	(国)	国道454号	正法寺Ⅱ期	現道拡幅	L=0.6km	八戸市					187		3-A180 H29完	
15-A105	道路	一般	青森県	直接			改築	(国)	国道338号	三川目	現道拡幅	L=1.2km	三沢市					330		G1-3-57 H31完	
15-A106	道路	一般	青森県	直接			改築	(国)	国道338号	二川目	現道拡幅	L=1.6km	おいらせ町					1028		R2完	
15-A301	道路	一般	八戸市	直接		市町村道	改築	(1)	沼館小田線	新大橋	橋梁架替（耐震性能向上）	L=0.7km	八戸市					7338		R8完	
												合計					19,382				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> バイパスの整備や現道拡幅を行った結果、創造的復興を推進する道路事業（被災市町策定復興計画に重要施策として位置付けられた道路事業）の整備率が向上した。 			
--------------------------------	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（創造的復興を推進する道路事業の整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との調整及び用地取得に時間を要したことから、目標との差が生じたと考えられる。
		最終実績値	30%		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
--	--	--	--	--

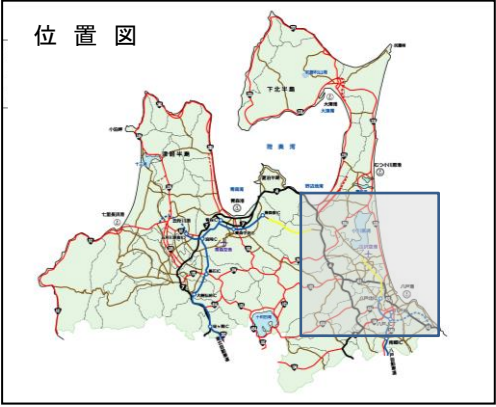
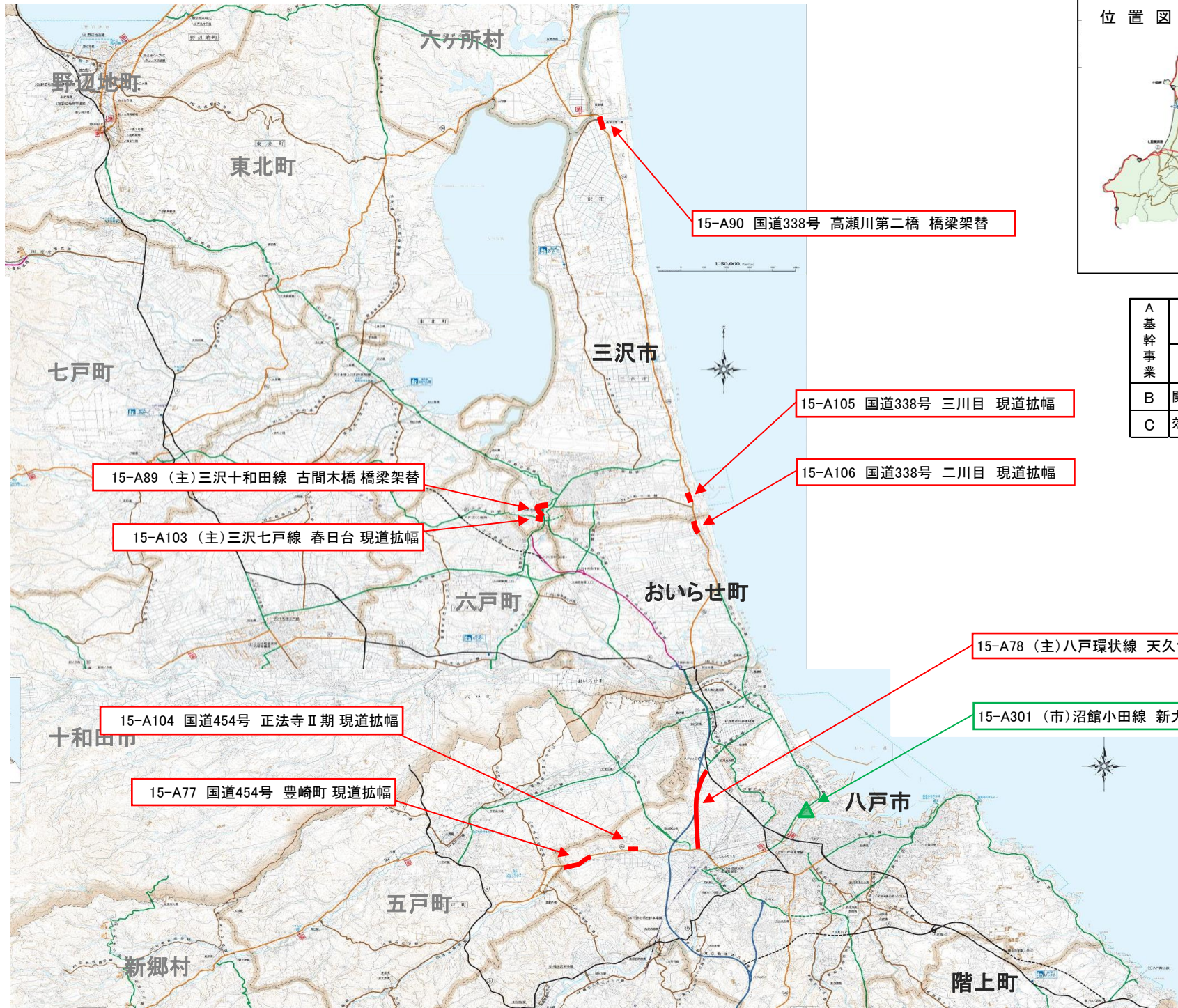
3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 当計画において完了していない事業については、他事業移行のうえ、引き続き実施する。
--

(参考様式3)

(参考図面) 復興基本方針関連 (復興)

計画の名称	15 被災地における創造的復興を推進し、防災・減災機能の強化を図る道づくり (復興基本方針関連 (復興))		
計画の期間	平成 28 年度 ~ 令和 2 年度	交付対象	青森県、八戸市



A 基幹 事業	改築	バイパス・現道拡幅	—
	修繕	橋梁架替(耐震性能向上)	▲
B	関連社会資本整備事業		○
C	効果促進事業		○